

琉球大学学術リポジトリ

熱帯農学研究施設用地内の森林植生(資料)(農学部附属演習林)

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学農学部 公開日: 2008-02-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 山盛, 直, Yamamori, Naoshi メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/4449

熱帯農学研究施設用地内の森林植生 (資料)

山 盛 直*

Naoshi YAMAMORI : Forest vegetation in the Reserch Institute of Tropical
Agriculture, College of Agriculture, University of the Ryukyus

I 緒 言

森林植物帯区分において沖縄は亜熱帯降雨林に属し、暖帯以北の日本本土とは様相を異にする植物相を呈している。戦後の日本領土は、北の亜寒帯から温帯を経て南の暖帯までで、亜熱帯は南端にわずかに現われる程度のものであった。しかし沖縄の施政権返還によって、北側の気候帯と亜熱帯が対等の位置をしめるようになり、亜熱帯の真只中に位置する沖縄は、学術的および産業的に重要な地位をしめるものと思われる。幸いにして日本領土の最南端に位置する西表島に、琉球大学農学部付属の熱帯農学研究施設が設置され、熱帯農学の研究が着手されたことは、学術研究上は勿論地域産業面にも貢献するものであり、その発展充実が望まれるものである。施設の充実整備の基礎には、より一層の現状把握が重要である。今後各種の調査研究が推進され、現状に合致した計画が立案実施されるものと考えられるが、その現状把握の一助としてこの度の植生調査が実施された。調査は1972年11月18日から3日間の短期間におこなわれたため、その結果は全地域に亘っておらず、また疎漏も多いと思われるが、今後調査機会毎に追加訂正されることを期待したい。

II 植 生 概 況

森林内の植生は、種類が豊富で複層林をなし、生長も旺盛であるが、人里に近いため人為の加わらない原生的森林はない。森林はすべてが抜切り跡地ないし二次林である。また丘陵地形が多く海岸線から近いため北の季節風の影響で、樹高は一般に低く10mを越える林木はあまりない。森林内では、稜線ないし中腹部と沢筋の林分の樹種構成が異なる。河岸の湿地帯では、山地地形地区とは全く異なる植生相を呈する所がみられる。海岸地帯には海岸乾性植生が、河口の陸地化していない低地にはマングローブ林が良く繁茂して特異な景観を呈している。

* 琉球大学農学部附属演習林

III 調査方法

1 プロットの設定

108林班の2小班内に、丘陵の稜線ないし中腹地帯（プロット1）および斜面下部の沢筋地帯（プロット2）の2箇所に20×20mのプロットをそれぞれ設けた。各プロットの概況を述べると、プロット1は、標高35mで稜線を含む斜面に位置し傾斜方向は南、傾斜度は平均15度である。プロット2は、斜面下部の沢筋にあって標高25m、傾斜方向北、傾斜度平均10度の比較的緩斜地で、プロットの下端は谷筋から5m離れた場所である。

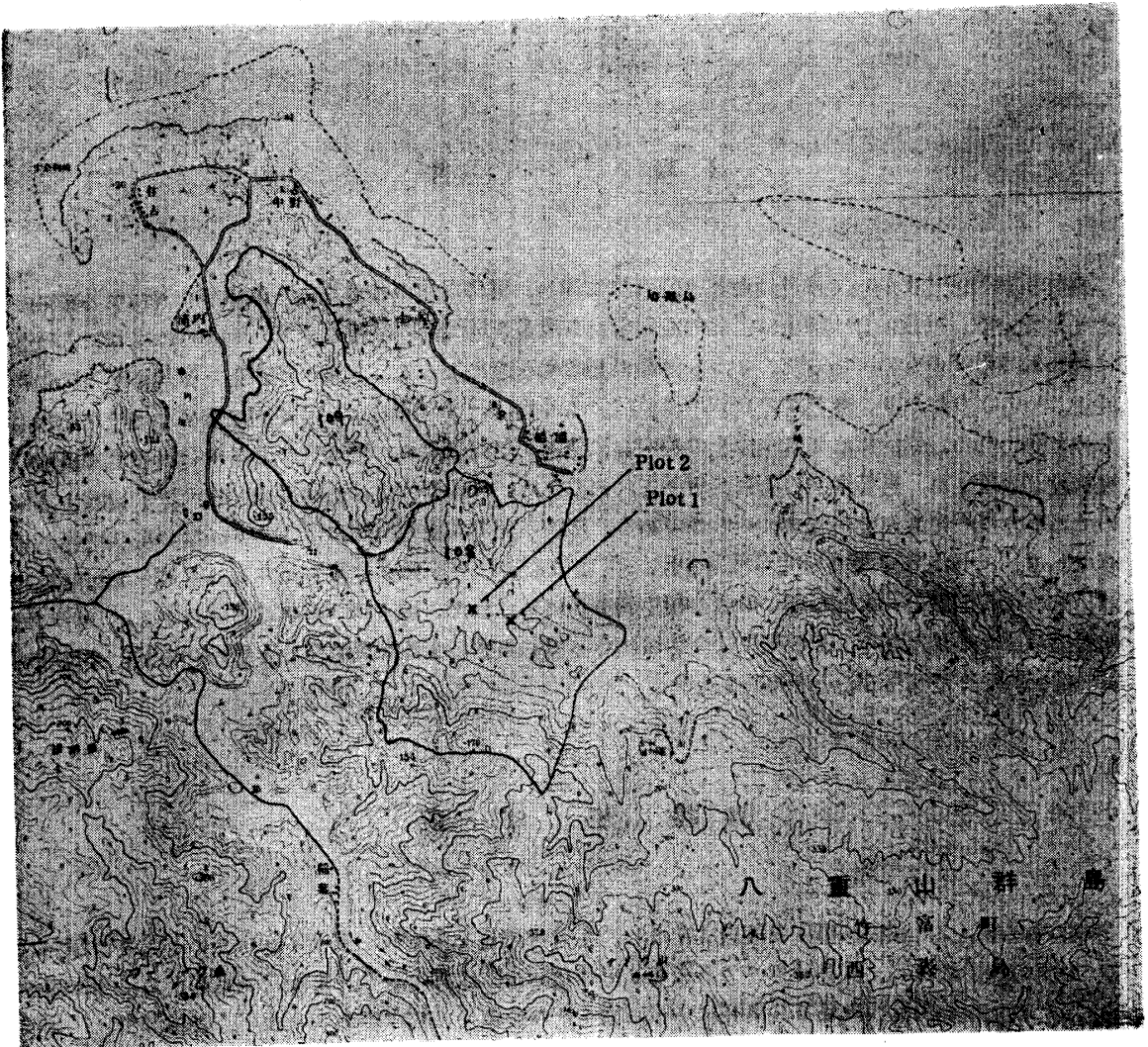


Fig. 1. Map of the Research Institute of Tropical Agriculture

2 調査方法

胸高直径4cm以上の林木については、樹種、胸高直径および樹高を、胸高直径4cm未満で樹高1m以上の林木は、樹種および樹高を、胸高1m未満の稚樹は被度を、さらに地床植生については、その種類と被度を調査記録した。また主として108林班内に生育している樹木について、その樹種と生育地の概略を観察記録した。

IV 結果および考察

亜熱帯の意義は、植物地理学者や気候学者によって種々説があり不明確であるが、気候の影響をまともに受けている植生を指標としておこなわれることが普通である。吉良(1)は、温度的植物帯および乾湿度的植物帯の区分の中で、亜熱帯を温量指数180—240°Cの範囲にあり、また乾湿指数10.0以上を降雨林としている。表1に西表島租納観測所の気象をかかげたが、これらの値から算出すると温量指数219°C、乾湿指数13.7となり、よって西表島の植物帯区分は亜熱帯降雨林と呼ぶことができる。

Table 1. Climate observation in Sonai, Iriomote

Item	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	Year
Mean temperature °C	16.9	18.0	20.1	22.4	25.5	27.2	28.4	27.8	27.1	24.6	22.0	19.5	23.3
Maximum temperature °C	19.7	20.6	23.0	25.8	28.2	29.8	31.4	31.0	29.7	26.9	24.6	21.9	26.1
Minimum temperature °C	15.0	15.6	17.5	20.1	22.9	24.9	25.9	25.3	24.5	22.3	20.0	17.0	20.9
Rainfall mm	157.9	160.7	150.4	152.5	229.6	233.6	197.4	274.7	281.1	201.9	244.4	173.1	2457.4
Mean humidity %	76	79	81	81	85	84	81	83	82	76	77	77	80

プロット1および2における樹種別直径別樹高別立木本数および材積を表2および表3に、地床植生の調査結果を表4にそれぞれ表示した。

表2によると、プロット1ではイタジイが優占種で、立木本数で全体の約26%、材積で全体の約37%をしめ、ついでオキナワウラジロガシ、タブノキの順に立木本数および材積の割合が大きい。出現樹種は29種で、胸高直径は4cmに最頻値があり、樹高は6mに最頻値がある。前記3樹種は他樹種に較べて胸高直径および樹高とも比較的大きい値をしめしている。

表3によると、プロット2においては、リュウキュウガキの立木本数が最も多く全体の23%をしめ、ついでフカノキ、モクダチバナ、ショウベンノキ、エゴノキ、イイギリなどの順に立木本数割合が大きい。材積ではフカノキの割合が最も大きく、全体の約12%をしめ、ついでリュウキュウガキ、イイギリ、ハゼノキ、エゴノキなどの順に材積割合が大きい。出現樹種は28種で、胸高直径および樹高の最頻値は4cmおよび6mで、プロット1と同じ傾向がみられる。

Table 2. (cont'd)

3	Height grades (m)							Volume (m ³)		
	4	5	6	7	8	9	Total	%	V	%
1	2	1	11	12	5		31	25.83	1.6840	36.74
	1	3	3	3	5	1	17	14.17	1.4736	32.15
		3	1	1	9		14	11.67	0.6407	13.98
	1	5	2				8	6.67	0.1476	3.22
			6	1			7	5.83	0.0515	1.12
			3	1			4	3.33	0.0421	0.92
			2	1	1		4	3.33	0.1062	2.23
2		1	2		1		4	3.33	0.1204	2.63
	2						4	3.33	0.0126	0.27
		2	1				3	2.50	0.0242	0.53
		1	1				2	1.67	0.0470	1.03
		1	1				2	1.67	0.0186	0.41
		1	1				2	1.67	0.0082	0.18
	2	2					2	1.67	0.0070	0.15
1			1				2	1.67	0.0056	0.12
				1			1	0.83	0.0597	1.30
					1		1	0.83	0.0490	1.07
			1				1	0.83	0.0192	0.42
				1			1	0.83	0.0168	0.37
			1				1	0.83	0.0107	0.23
				1			1	0.83	0.0064	0.14
			1				1	0.83	0.0047	0.10
			1				1	0.83	0.0041	0.09
			1				1	0.83	0.0041	0.09
1		1				1	0.83	0.0041	0.09	
		1				1	0.83	0.0041	0.09	
7	10	28	35	19	20	1	120	100.00	4.5832	100.00
							2880		114.5800	

Table 3. (cont'd)

Height grades (m)												Volume (m ³)	
2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	Total	%	V	%
	4	7	7	4	2	3				27	23.08	0.5649	10.65
	1	3	2	6	1	3	1			17	14.53	0.6450	12.16
	2		3	4	2					11	9.40	0.2689	5.05
	3	2	1	3						9	7.69	0.1901	3.58
					7	1				8	6.68	0.5107	9.63
						2		2	1	5	4.27	0.5663	10.67
				1	3		1			5	4.27	0.5449	10.27
		1		1		1				3	2.56	0.0390	0.72
				1	1	1				3	2.56	0.3730	7.03
				1		1	1			3	2.56	0.4221	7.96
			3							3	2.56	0.0399	0.75
				1					1	2	1.71	0.1750	3.30
				2						2	1.71	0.1095	2.05
						2				2	1.71	0.0915	1.72
		1				1				2	1.71	0.0409	0.77
	1		1							2	1.71	0.0212	0.40
			2							2	1.71	0.0092	0.15
						1				1	0.85	0.2595	4.89
							1			1	0.85	0.1663	3.13
	1									1	0.85	0.1058	1.99
					1					1	0.85	0.0783	1.48
										1	0.85	0.0338	0.64
				1						1	0.85	0.0302	0.57
				1						1	0.85	0.0107	0.20
			1							1	0.85	0.0041	0.08
	1									1	0.85	0.0028	0.05
	1									1	0.85	0.0028	0.05
1										1	0.85	0.0021	0.04
1	14	14	20	26	17	16	5	2	2	117	100.00	5.3055	100.00
										2925		132.6375	

プロット1および2の両調査区における樹種構成のちがいがあきらかに認められる。斜面の位置のちがいによる出現樹種の相違は普通認められるもので、一般には沢沿いの斜面下部に比較的陰性の強い樹種が多く、中腹部にはやや陽性の樹種が、峯部にはさらに陽性の樹種が多い傾向がみられる。山盛等(8)によれば、斜面位置と結びつきの強い樹種として、斜面下部にはエゴノキ、斜面上部にはモツコク、ヒメズリハをあげている。プロット2においては、プロット1に出現割合の多いイタジイやオキナワウラジロガシなどの出現がなく、斜面下部特に凹地形に一般にみられるショウベンノキ、エゴノキ、イイギリなどが出現し立木本数割合の上位をしめている。これらの相違は、斜面位置によって受光量の多少や風の影響などの気象条件およびこれら気象条件の影響を受けた土壌条件などに対応した植生のちがいと考えられる。

Table 4. Cover degree of vegetation on ground floor

Plot I		Plot II	
Species	C*	Species	C
<i>Ferycnetia formosana</i>	5	<i>Pteris semiptnata</i>	5
<i>Liriope Tawadae</i>	2	<i>Arenga tremula</i> var. <i>Engleri</i>	4
<i>Alpinia Koidzumiana</i>	+	<i>Flagellaria index</i>	2
<i>Oplismenus compositus</i> var. <i>patens</i>	+	<i>Stegnogramma Griffithii</i>	1
<i>Sphenomeris chusana</i>	+	<i>Oplismenus compositus</i> var. <i>patens</i>	+
<i>Thelypteris acuminata</i>	+	<i>Cyathea podophylla</i>	+
<i>Psychotria serpens</i>	+	<i>Thelypteris triphylla</i>	+
<i>Smilax narvo-marginata</i>	+	<i>Carex brunner</i>	+
<i>Flagellaria index</i>	+	<i>Alocasia macrorrhiza</i>	+
<i>Arenga tremula</i> var. <i>Engleri</i>	+	<i>Alpinia Koidzumiana</i>	+
		<i>Asplenium nidus</i>	+
		<i>Thelypteris parasitica</i>	+
		<i>Farfugium japonicum</i>	+
		<i>Piper Kadusura</i>	+
		<i>Ferycnetia formosana</i>	+
		<i>Smilax narvo-marginata</i>	+
		<i>Epipremnum pinnatum</i>	+

* C : Cover degree

表4に示したプロット別の地床植生をみると、プロット1ではツルアダンが優占種で比較的乾性植生が多いが、プロット2ではオオアマクサシダ、アミシダ、オニヘゴなど沢筋などに出現する湿性植生がみられ、土壌条件のちがいをしめしている。

一般的に、山地地形を形成している地帯では、プロット1およびプロット2の結果と同様に、地形的に植生の相違が推察される。

表2および表3によると、ha換算の立木本数は、2880—2925本で、同様に材積は114m³—132m³である。

つぎに、海岸地帯や河岸湿地帯などの特殊な地帯では、山地と異った植生相が観された。海岸地帯の砂土地域には、ハスノハギリ、サキシマハマボウ、アダン、クサトベラ、ハマゴウ、ミツバハマゴウ、クロヨナ、モンパノキ、コバテイシ、イソフジなどの海岸乾性植生が出現し、防風林としてトキワギヨリュウ、テリハボクなどが植栽されている。また河口の陸地化していない低地にはマングローブ林が出現し、オヒルギ、メヒルギ、オオバヒルギ、シマシラキ、ヒルギモドキ、ヒルギダマシなどが観察された。ウダラ川上流の河岸湿地帯には、約3haにおよぶサガリバナの群落がみられ、オキナワキョウチクトウ、フトモモ、カキバカンコノキ、アカメイヌビワ、リュウビンタイなどを混生して特異な景観を呈している。さらに109林班の小班の一部に生育する天然生リュウキュウマツ林分は、極めて旺盛な生長をしめして複層林型をなし、下層にトウサツキを混じて特異な植生構成を形成している。

以上述べた特殊地帯における植生相は、当該施設の他地区に観察されないものであり、保護育成して学術参考に供する必要がある。

沼田(4)は、沖縄に産する600種の植物のうち約80%が日本本土と、約97%が台湾と共通であり、日本本土よりむしろ台湾に近いと云っている。樹木目録に記した分布をもとに、日本本土ならびに台湾と共通する種類数をそれぞれあげると、前者は41種、後者は96種となる。これらの全出現種数に対する割合は、38%および86%となり沼田の結果と同様な傾向をしめしている。

主として108林班内で観察記録した結果を樹木目録として集録した。観察記録された樹木は49科109種である。樹種の学名、和名、分布などは初鳥(5)および初鳥・天野(6)に従った。分布は、日本本土、沖縄、台湾、中国、比島、印度支那、マレーシアなどに大別したが、九州本土以南の分布についてはその北限地帯の島名を、沖縄県内において、沖縄本島以外の島に分布するものには、その島名を記した。生育地は、山地、海岸、河岸などに大別し、山地にあつては生育場所によって峯、中腹、下腹、沢筋などに区別し、河口地帯のマングローブ林内に生育するものおよび河岸湿地帯に生育するものについては特記したが、これら生育場所の区分は概略をしめすものである。

V 樹 木 目 録

CYATHEACEAE

ヘゴ科

- Cyathea podophylla* Copel. オニヘゴ
山地、谷筋 奄美 沖縄 台湾 印度支那
- C. lepiifera* Copel. ヒカゲヘゴ (モリヘゴ)
山地 谷筋 奄美 沖縄 台湾 比島

PODOCARPACEAE

マキ科

- Podocarpus macrophylla* D. Don イヌマキ
山地 中腹一峯 日本 沖縄 中国

PINACEAE

マツ科

- Pinus lutchuensis* Mayr リュウキュウマツ
山地 中腹一峯 栽 トカラ以南 沖縄 固有

CASUARINACEAE

モクマオウ科

- Casuarina equisetifolia* J. et G. Forst. トキワギョリュウ
海岸 栽 (防風林) マレーシア

MYRICACEAE

ヤマモモ科

- Myrica ru'ura* S. et Z. ヤマモモ
山地 中腹一峯 日本 沖縄 台湾 中国

FAGACEAE

ブナ科

- Quercus Miyagii* Koidz. オキナワウラジロガシ
山地 中腹一峯 奄美 沖縄 固有

- Castanopsis Sieboldii* Hatusima イタジイ
山地 日本 沖縄 済州島

ULMACEAE

ニレ科

- Trema connabina* Lour. ウラジロエノキ
山地 疎開地 屋久以南 沖縄 台湾 熱帯アジア

- Celtis bouinensis* Koidz. クワノハエノキ
山地 疎開地 日本 沖縄

MORACEAE

クワ科

- Ficus benguetensis* Merr. ハルランイヌビワ
山地 下腹一中腹 沖縄 台湾 比島
- F. superba* var. *japonica* Miq. アコウ
低地一海岸 沖縄 台湾 中国
- F. Ampelas* Burm. f. ホソバムクイヌビワ
山地 下腹一中腹 奄美 沖縄 台湾
- F. erecta* Thunb. イヌビワ
山地 日本 沖縄 台湾
- F. virgata* Reinw. ハマイヌビワ
山地 下腹 トカラ 沖縄 台湾 中国 印度 マレーシア
- F. septica* Burn. f. オオバイヌビワ
山地 下腹 奄美 沖縄 台湾 マレーシア

MAGNOLIACEAE

モクレン科

- Michelia compressa* var. *formosana* Kanehira タイワンオガタマ
山地 石垣 西表 台湾

LAURACEAE

クスノキ科

- Cinnamomum Doederleinii* Engl. シバナツケイ
山地 中腹一峯 奄美一沖縄
- C. japonicum* Sieb. ヤブニツケイ
山地中腹一峯 日本 沖縄 台湾
- Persea Thunbergii* Kostermans タブノキ
山地 下腹一中腹 日本 沖縄 台湾 中国 比島
- P. japonica* Sieb.ex S. et Z. アオガシ (ホソバタブ)
山地 下腹一中腹 日本 沖縄 南鮮
- Litsea acuminata* S. Kurata バリバリノキ
山地 下腹一中腹 日本 沖縄 台湾
- Neolitsea aciculata* Koidz. イヌガシ
山地 下腹一中腹 日本 沖縄 台湾

HERNANDIACEAE

ハスノハギリ科

- Herandia Sonora* L. ハスノハギリ
海岸 沖永良部 沖縄 台湾 熱帯アジア

PITTOSPORACEAE

トベラ科

- Pittosporum Tobira* Aiton トベラ
海岸 日本 沖縄 台湾 中国

HAMAMELIDACEAE

マンサク科

- Distylium racemosum* S. et z. イスノキ
山地 峯 日本 沖縄 台湾 中国

ROSACEAE

バラ科

- Raphiopsis umbellata* var. *liukiensis* Koidz. ホソバシヤリンバイ
山地 中腹一峯 奄美 沖縄
- var. *hiiranensis* Hatusima ヒイランシヤリンバイ
低地→海岸 沖縄 台湾

LECUMINOSAE

マメ科

- Pongamia pinnata* Pierre クロヨナ
海岸 沖縄 台湾 中国 印度 マレーシア
- Sophora tomentosa* L. イソフジ
海岸 沖縄 台湾 熱帯アジア

RUTACEAE

ミカン科

- Evodia gulauca* Miq. ハマセンダン
山地 下腹 日本 沖縄 台湾 中国

EUPHORBIACEAE タカトウダイ科

- Antidesma japonicum* S. et Z. ヤマヒハツ
山地 日本 沖縄 台湾
- Daphniphyllum Teijsmannii* Zoll. ヒメユズリハ
山地 中腹一峯 日本 台湾 沖縄
- Excoecaria gulauca* L. シマシラキ
海岸 マングローブ林内 奄美 沖縄 熱帯アジア ポリネシア
- Glochidion zeyanicum* A. Juss. カキバカンコノキ
山地 疎開地 湿地 屋久 沖縄 台湾 中国 マレーシア
- G. acuminatum* Muehl. Arg. ウラジロカンコノキ
山地 疎開地 奄美 沖縄 台湾 中国 印度
- Macaranga tanasius* Muell. Arg. オオバギ
山地 下腹 沖縄 台湾 中国 マレーシア
- Mallotus japonicus* Muell. アカメガシワ
山地 疎開地 日本 沖縄 台湾 中国
- M. paniculatus* Muell. ウラジロアカメガシワ
山地 疎開地 日本 沖縄 台湾 中国
- Melanolepis multiglandulosa* Reichb. f. et Zoll. ヤンバルアカメガシワ
山地 疎開地 沖縄 台湾 熱帯アジア

ANACARDIACEAE ウルシ科

- Rhus succedanea* L. ハゼノキ
山地 下腹一中腹 日本 沖縄 中国

AQUIFOLIACEAE モチノキ科

- Ilex goshiensis* Hay. ツゲモチ
山地 下腹一中腹 日本 沖縄 台湾
- I. integrax* Thumb. モチノキ
山地 日本 沖縄 台湾 南鮮
- I. liukiensis* Loesn. リュウキュウモチ
山地 屋久 沖縄
- I. Maximowicziana* Loesn. ナガバイヌツゲ
山地 下腹一中腹 石垣 西表 台湾
- I. Warburgii* Loesn. オオシイバモチ
山地 下腹一中腹 奄美 沖縄

CELASTRACEAE ツルウメモドキ科

- Microtropis japonica* Wall. モクレイシ

山地 日本 沖縄 台湾

STAPHYLECEAE ミツバウツギ科

Turpinia Ternata Nakai ショウベンノキ
山地 下腹 日本 沖縄 台湾

ELAEOCAROACEAE ホルトノキ科

Elaeocarpus japonicum S. et Z. コバンモチ
山地 日本 沖縄 台湾 中国
E. sylvestris Poir. ホルトノキ
山地 日本 沖縄 台湾 中国

MALVACEAE アオイ科

Thespesia populnea Soland. サキシマハマボウ
海岸 沖縄 台湾 熱帯アジア
Hibiscus mutabilis L. フヨウ
山地 疎開地 日本 沖縄 台湾 中国
H. tiliaceus L. オオハマボウ
海岸 屋久 沖縄 熱帯各地

THEACEAE ツバキ科

Ternstroemia japonica Thunb. モツコク
山地 峯 日本 沖縄 台湾 中国
Cleyera japonica var. *Morii* Masamune マルバサカキ
山地 中腹一峯 石垣 西表 台湾
Schima Wallichii ssp. *liukuensis* Bloemb. イジユ
山地 奄美 沖縄
Tutchera virgate Nakai ヒサカキサザンカ
山地 中腹一峯 沖永良部 沖縄
Adinandra yae-yamensis Ohwi ケナガエサカキ
山地 下腹一中腹 石垣 西表
Camellia japonica L. ヤブツバキ
山地 中腹一峯 日本 沖縄

GUTTIFELAE オトギリソウ科

Calophyllum inophyllum L. ヤラボ(テリハボク)
海岸 栽 沖縄 台湾 熱帯アジア
Carcinia subelliptica Merr. フクギ
山地 西表(野生) 比島

- FLACOURTIACEAE** イイギリ科
- Idesia polycarpa* Maxim. イイギリ
 山地 下腹 日本 沖縄 台湾 中国
- LYTHRACEAE** ミソハギ科
- Pemphis acidusa* G. Forst. ミズガンピ
 海岸 沖縄 台湾 熱帯アジア
- LECYTHIDACEAE** サガリバナ科
- Barringtonia asiatica* Kurz. サガリバナ
 河岸 湿地 奄美 沖縄 台湾 マレーシア
- RHIZOPHORACEAE** ヒルギ科
- Bruguiera gymnorrhiza* Lamk. アカバナヒルギ (オヒルギ)
 海岸 マングローブ林 沖縄 熱帯アジア アフリカ ポリネシア
- Kandelia Candel* Druce メヒルギ
 海岸 マングローブ林 種子 沖縄 台湾 印度マレーシア
- Rhizophora stylosa* Griff. オオバヒルギ
 海岸 マングローブ林 沖縄 台湾 熱帯地方
- COMBRETACEAE** シクンシ科
- Terminalia Calappa* L. コバテイシ
 海岸 沖縄 台湾 熱帯地方
- Lumnitzera racemosa* Willd. ヒルギモドキ
 海岸 マングローブ林 沖縄 台湾 熱帯地方
- MYRTACEAE** フトモモ科
- Syzygium Jambo* Alston フトモモ
 山地 下腹—中腹 奄美 沖縄 印度
- S. buxifolium* Hook. et Arn. アデク
 山地 中腹—峯 日本 沖縄 台湾 中国
- ARALIACEAE** ウコギ科
- Dendropanax trifidus* Mak. カクレミノ
 山地 日本 沖縄 台湾 印度支那
- Schefflera octophylla* Harms フカノキ
 山地 日本 沖縄 台湾 中国
- Aralia elata* Seem. タラノキ
 山地 疎開地 日本 沖縄 中国

ERICACEAE

シヤクナゲ科

- Rhododendron leiopojum* Hay. セイシカ
山地 中腹一峯 石垣 西表 台湾
- R. Simsii* Planch. タイワンヤマツツジ (トウサツキ)
山地 屋久 沖縄 台湾 中国
- Vaccinium Wrightii* A. Cray. ギイマ
山地 沖縄 台湾

MYRSINACEAE

マンリヨウ科

- Ardicia crenata* Sims マンリヨウ
山地 日本 沖縄 台湾 東南アジア
- A. Sieboldii* Miq. モクタチバナ
山地 日本 沖縄 台湾 中国
- A. quinquegona* Bl. シシアクチ
山地 屋久 沖縄 台湾 中国
- Maesa tenera* Mez. シマイズセンリヨウ
山地 下腹 日本 沖縄 台湾 中国

SAPOTACEAE

アカテツ科

- Planchonella obovata* H. L. Lam. アカテツ
山地 下腹 宝島 沖縄 台湾 中国

EBENACEAE

カキノキ科

- Diospyros ferra* Bakhauizen ヤエヤマコクタン
山地 沖縄 台湾 中国 マレーシア
- D. maritima* Bl. リュウキュウガキ
山地 下腹一中腹 沖永良部 沖縄 台湾 マレーシア
- D. Morrisiana* Hance トキワガキ
山地 日本 沖縄 台湾 中国

CYMPROCOCEAE

ハイノキ科

- Symplocos reclocalyx* Hag. アマシバ
山地 下腹 奄美 沖縄 台湾
- S. glauca* Koidz. ミミズバイ
山地 日本 沖縄 台湾 中国

STYRACACEAE

エゴノキ科

- Styrax japonicus* S. et Z. エゴノキ
山地 下腹 日本 沖縄 台湾 比島

OLEACEAE

モクセイ科

- Osmanthus marginatus* Hemsl. リュウキュウモクセイ
山地 奄美 沖縄 台湾 中国

APOCYNACEAE

キョウチクトウ科

- Cerbera lactaria* Ham. オキナワキョウチクトウ
河岸 湿地 沖縄 台湾 中国 マレーシア

BORAGINACEAE

ムラサキ科

- Messerschmidia argentea* Johnston モンパノキ
海岸 宝島 沖縄 台湾 熱帯アジア
Ehretia microphylla Lamk. フクマンギ
海岸 沖縄 台湾 中国 マレーシア

VERBEACEAE

クマツツラ科

- Avicennia marina* Vierh. ヒルギダマシ
海岸 マングローブ林 宮古 石垣 西表 台湾 熱帯アジア
Vitex trifolia L. ミツバハマゴウ
海岸 沖縄 熱帯地方
V. rotundifolia L. ハマゴウ
海岸 日本 沖縄 台湾 東南アジア
Callicarpa japonica var. *luxurians* Rehd. オオムラサキシキブ
山地 日本 沖縄 台湾
Clerodendron inerme Gaertn. イボタクサギ
海岸 種子 沖縄 台湾 熱帯アジア
C. trichotomum var. *esculentum* Mak. ショウロククサギ
山地 下腹 日本 沖縄 台湾 比島

RUBIACEAE

アカネ科

- Psychotria rudra* Poir. ボチヨウジ
山地 屋久 沖縄 台湾 中国
Lasianthus Fordii Hance タシロルリミノキ
山地 屋久 沖縄 台湾 比島
L. Curtisii King et Gamble ケハダルリミノキ
山地 屋久 沖縄 台湾 中国 印度支那
Wendlandia formosana Cowan アカミズキ
山地 下腹 奄美 沖縄 台湾 中国
Tricalysia dubia Ohwi シロミミズ
山地 奄美 沖縄 台湾 中国

Randia sinensis Schult. シマミサオノキ
 山地 奄美 沖縄 台湾 中国

GOODENNIACEAE クサトベラ科

Scaevola taccada Roxb. クサトベラ
 海岸 種子 沖縄 台湾 中国 印度 マレーシア

PANDANACEAE タコノキ科

Pandanus tectorius Parkinson アダン
 海岸 沖縄 熱帯アジア

GRAMINEAE イネ科

Bambusa multiplex Rauschel ホウライチク
 河岸 日本 沖縄 台湾 熱帯アジア

PALMAE ヤシ科

Arenga tremula Becc. コミノクロツグ
 山地 下腹 石垣 西表 台湾 比島

参 考 文 献

1. 吉良竜夫 1949 日本の森林帯, 日本林業技術協会
2. 高江州重一, 玉城 功 1971 イタジイを主体とする天然生広葉樹林の収穫予想表の調整, 琉球林業試験場報告, 14: 1~26
3. 新納義馬 1971 沖縄島の植生概観, 沖縄生物学会誌, 8(10): 88~94
4. 沼田 真 1972 植物たちの生, 岩波書店, 98
5. 初島住彦 1971 琉球植物誌, 沖縄生物教育研究会
6. ———, 天野鉄夫 1967 沖縄植物目録, 沖縄生物教育研究会
7. 琉大農学部 1972 熱帯農学研究施設概要
8. 山盛直, 大山保表 1973 天然生広葉樹林分の施業に関する研究 II, 琉大農学報, 20: 389~402